



平成30年11月6日

各位

上場会社名 京極運輸商事株式会社
 代表者 代表取締役社長 玉川 寿
 (コード番号 9073)
 問合せ先責任者 常務取締役 新井 富雄
 (TEL 03-5825-7143)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,455	40	60	40	12.98
今回修正予想(B)	4,541	43	57	35	11.24
増減額(B-A)	87	3	△3	△5	
増減率(%)	2.0	7.5	△5.0	△12.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	4,448	163	183	118	38.44

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,020	95	125	80	25.96
今回修正予想(B)	9,400	100	130	80	25.96
増減額(B-A)	380	5	5	0	
増減率(%)	4.2	5.3	4.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	8,910	138	178	117	38.05

平成31年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(注)前事業年度実績(平成30年3月期第2四半期)は、開示を省略しております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,905	15	30	20	6.48
今回修正予想(B)	3,029	49	66	44	14.18
増減額(B-A)	124	34	34	24	
増減率(%)	4.3	226.7	120.0	120.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,915	50	70	45	14.58
今回修正予想(B)	6,110	70	90	60	19.44
増減額(B-A)	195	20	20	15	
増減率(%)	3.3	40.0	28.6	33.3	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	5,888	59	87	56	18.22

修正の理由

1. 連結

当第2四半期連結累計期間は、タンク洗滌・修理事業における工事受注件数の減少、港湾運送及び通関事業における主要荷主の輸出取扱量の減少による減収もありましたが、ドラム缶等販売事業における販売量及び配送数量の増加、石油販売事業における販売平均単価の上昇及び貨物自動車運送事業における輸送数量の増加等により増収となる見込みであります。しかしながら、原油価格の上昇による燃料費の増加、タンク洗滌・修理事業における工事受注件数が減少する中で人件費、減価償却費等の固定費を吸収できなかった事等により減益となる見込みであります。

通期の業績予想につきましては、景気動向が未だ不透明であります。当第2四半期連結累計期間の推移及び入手可能な情報から、タンク洗滌・修理事業において、第3四半期連結累計期間以降終了する予定の工事が増加する事等から、当初の予想値を上回る見込みであります。

2. 個別

当第2四半期累計期間は、ドラム缶等容器販売部門における販売及び配送数量の増加、貨物自動車運送事業における輸送数量の増加及び倉庫事業における取扱量の増加により増収となる見込みであります。また、貨物自動車運送事業において、燃料価格が当初予想より高騰しましたが、車両代替計画の見直しによる減価償却費の減少及び港湾運送及び通関事業における組織改正に伴う経費削減により損益は公表値を上回る見込みであります。

また、通期の業績予想につきましては、景気動向が未だ不透明であります。当第2四半期累計期間の推移及び入手可能な情報から、増収増益となる見込みであります。

以上